

学校教育目標
心豊かで しなやかに
生きる力 を育成する



京都市立西ノ京中学校
学校だより ④
令和元(2019)年7月19日
校長 内田 隆寿

学校改善に向けた保護者アンケート

～ ご協力ありがとうございました ～

01年度前期 保護者アンケート 前年度比較

2019(令和01)年6月実施 回収数 126校
2018(平成30)年6月実施 回収数 135校

	質問項目	A+B		A そう思う		B 大体そう思う		C あまりそう思わない		D そう思わない	
		01前期	30前期	01前期	30前期	01前期	30前期	01前期	30前期	01前期	30前期
学校生活・学習面	子どもは安心して楽しく学校に通っている。	98.4%	99.3%	61.6%	57.0%	36.8%	42.2%	1.6%	0.7%	0.0%	0.0%
	子どもは学校の授業を「わかる」と言っている。	85.6%	81.5%	23.2%	23.7%	62.4%	57.8%	14.4%	17.8%	0.0%	0.7%
	子どもには基礎的基本的な知識や技能、学力がついてきていると思う。	80.9%	81.5%	23.8%	21.5%	57.1%	60.0%	17.5%	18.5%	1.6%	0.0%
	子どもは部活動に楽しく熱心に参加している。	91.0%	92.5%	52.5%	59.7%	38.5%	32.8%	5.7%	5.2%	3.3%	2.0%
	子どもには困ったことや悩みを相談できる友人がいる。	86.2%	92.6%	30.6%	31.1%	55.6%	61.5%	12.1%	5.9%	1.6%	1.3%
	家で予習や復習、宿題等の勉強はできている。	65.9%	65.2%	27.0%	20.0%	38.9%	45.2%	30.2%	29.6%	4.0%	4.7%
	子どものことについて、先生と気軽に相談できる。	80.1%	76.9%	20.6%	19.4%	59.5%	57.5%	17.5%	18.7%	2.4%	4.0%
	学校の様子が、学級・学年・学校だよりやホームページなどでよく分かる。	93.6%	91.7%	34.1%	33.8%	59.5%	57.9%	4.8%	7.5%	1.6%	0.7%
	校舎・教室は整理整頓され、掲示物等は分かりやすく配置されている。	93.6%	96.3%	35.2%	22.2%	58.4%	74.1%	5.6%	3.7%	0.8%	0.0%
	学校は一人ひとりを大切にしたい教育活動をすすめている。	88.8%	86.7%	18.4%	17.8%	70.4%	68.9%	9.6%	13.3%	1.6%	0.0%
	教職員は生徒のために熱心に取り組んでいる。	95.2%	94.1%	30.4%	28.1%	64.8%	65.9%	4.0%	5.9%	0.8%	0.0%
	西ノ京中学校の教育活動に満足している。	92.8%	94.0%	20.0%	20.9%	72.8%	73.1%	5.6%	5.2%	1.6%	0.7%
家庭生活・家庭の役割	子どもは校則やきまりを守っている。	97.6%	99.3%	47.6%	51.9%	50.0%	47.4%	2.4%	0.7%	0.0%	0.0%
	家庭では「早寝・早起き」に心がけている。	70.4%	71.9%	24.0%	28.9%	46.4%	43.0%	25.6%	26.7%	4.0%	1.3%
	子どもは朝ごはんを毎日きちんと食べている。	95.3%	94.1%	65.1%	71.9%	30.2%	22.2%	4.0%	4.4%	0.8%	1.3%
	子どもに家族の一員として、役割と責任を持たせるようにしている。	78.5%	80.7%	31.7%	36.3%	46.8%	44.4%	17.5%	18.5%	4.0%	0.7%
	子どもに規範意識(マナー・モラル等)について教えている。	98.4%	98.5%	41.3%	45.2%	57.1%	53.3%	1.6%	1.5%	0.0%	0.0%
	家庭で読書の習慣がついている。	29.3%	31.1%	10.3%	9.6%	19.0%	21.5%	38.1%	42.2%	32.5%	24.2%
	子どもは自らすすんで「おはよう」「ただいま」などの挨拶ができています。	84.1%	88.6%	44.4%	49.2%	39.7%	39.4%	11.9%	10.6%	4.0%	0.7%
	子どもは配布物を必ず見せ、学校のことをよく話してくれる。	73.0%	79.5%	31.7%	28.8%	41.3%	50.8%	24.6%	18.2%	2.4%	2.0%
	授業参観や学校行事などに、できるだけ参加している。	77.4%	78.8%	23.4%	22.0%	54.0%	56.8%	20.2%	17.4%	2.4%	3.4%
	PTA活動や学校ボランティア活動に、できるだけ参加している(したい)。	45.9%	53.0%	4.0%	7.6%	41.9%	45.5%	48.4%	40.2%	5.6%	6.0%
	夜間の外出はさせていない。	95.2%	94.7%	65.6%	71.2%	29.6%	23.5%	4.0%	3.8%	0.8%	1.3%
	ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている。	80.0%	85.6%	35.2%	31.8%	44.8%	53.8%	16.0%	14.4%	4.0%	0.0%
参観授業	子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ対話している。	72.2%	80.3%	24.6%	28.0%	47.6%	52.3%	25.4%	18.9%	2.4%	0.7%
	道徳の授業のねらい、進め方は分かりやすかった。	93.8%	93.8%	21.0%	25.0%	72.8%	68.8%	6.2%	5.0%	0.0%	0.7%
	生徒は熱心に授業に取り組んでいた。	95.0%	89.7%	27.5%	28.2%	67.5%	61.5%	5.0%	9.0%	0.0%	0.7%
	教科の授業のねらい、進め方は分かりやすかった。	99.0%	96.0%	30.0%	23.8%	69.0%	72.3%	1.0%	4.0%	0.0%	0.0%
	先生の説明や指示は分かりやすかった。	98.0%	97.0%	34.0%	22.8%	64.0%	74.3%	2.0%	3.0%	0.0%	0.0%
	生徒は熱心に授業に取り組んでいた。	97.0%	95.0%	35.0%	28.7%	62.0%	66.3%	3.0%	4.0%	0.0%	0.7%

多重回答や無回答、四捨五入処理のため、合計は100%にならない場合があります。

先月に実施した保護者アンケートの結果をお伝えします。学校生活全般においては、昨年同時期とほぼ同じような比較的高い評価をいただきました。アンケートにお答えいただいた方のほとんどが「子どもたちは、校則やきまりを守り、安心して学校に通っている」とお考えいただいているようです。

「子どもは学校の授業を「わかる」と言っている」の項目に対して肯定的な回答をいただいている割合は、この3年間少しずつではありますが増加の傾向を示しています。中学校では、学習の指針となる学習指導要領が平成28年度に改訂され、令和3年度の全面実施に向けて現在先行実施を進めており、本校でも、新しい時代に必要となる資質・能力の育成(「生きて働く知識・技能の習得」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」、「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養」)を目指して、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点からの授業改善に取り組んでいるところです。また、その中で特に、思考力・判断力・表現力等の育成に向けて言語活動の充実にも取り組んでいます。言語活動とは、単に話し合うことではなく、「記録する」「まとめる」「感想を書く」「説明する」「討論する」など、その授業過程においてふさわしい活動を位置付けて取り組みます。

「子どもには困ったことや悩みを相談できる友人がいる」については、前年より低い数値となっています。

これはあくまでもアンケートに答えていただいた保護者の皆さんの見立てですので、子どもの実態が本当にそうなのかどうかは定かではありませんが、人間関係が希薄になってきているという課題は今に始まったことではありません。これは、核家族化や少子化、ケータイ・スマホ等のメディアの発達、価値観の多様化など様々な要因があげられています。ちなみに、2年生で実施した「生き方探究・チャレンジ体験」（職場体験）の事後に取った保護者アンケートで、「お子さんの将来のために、これからもっと身に付けさせたいと考えることは何ですか」（選択肢は、①教科の学力 ②コミュニケーション力 ③精神力 ④礼儀・マナー ⑤健康・体力）という問いに対して、一番多かったのが「コミュニケーション力（他人の考えや立場を理解し、自分の考えを正確に伝える力）」で、割合的には群を抜いていました。本校では、「人権を尊重し、他者と共に生きる生徒」を目指す生徒像のひとつとしてあげ、学級や学年、部活動等の集団づくりの取組を通して、共感的人間関係を育成し、つながりを大切にできる生徒を育てていきたいと考えています。

一方、「子どものことについて、先生と気軽に相談できる」については、ここ数年で一番高い数値となりました。思春期真っ只中の子ども達をめぐる課題や悩みは千差万別です。学校には担任や学年の教職員以外にも、養護教諭やスクールカウンセラーなどもおりますし、より専門的な外部機関と連携する方法もあります。今後も遠慮なく担任等を窓口にご相談いただければと思います。

家庭生活の項目で特に目を引くのは、「家庭での読書の習慣」の数値です。肯定的な回答は、昨年同時期よりさらに低くなり、とうとう30%を切ってしまい、逆に「そう思わない」が30%を超えてしまいました。昨年は4人に1人であったのが、ここにきて一気に3人に一人がほぼその習慣がないと回答していることは大変危惧されます。本校では、今年度より朝の登校後10分間の時間を朝読書をメインにして取り組んでいます。これが習慣となり、本の面白さに気づく生徒が増えてくれればと願っていますので、ぜひご家庭でも「どんな本読んでるの？」など話題のひとつにいただければと思います。校内では、図書委員会が中心になって読書活動の啓発・推進に取り組んでいます。また、国語科をはじめすべての教科で言語活動の充実を意識した学校図書館を活用した授業が展開できるよう授業改善を進めていきたいと考えています。

その他、「子どもは配布物を必ず見せ、学校のことをよく話してくれる」「ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている」「PTA活動や学校ボランティア活動に、出来るだけ参加している（したい）」「夢や生き方など、子どもとの対話を心がけている」の数値が他の項目と比較しても大きく下がっているが気になります。子どもが親と距離をおきたがるのは思春期の特徴ですので、その分、授業参観や学校行事の際に学校での子ども達の様子を見ていただくとともに、PTA活動や学校ボランティア活動にも参加していただいて、保護者同士の横のつながりの中で子育ての相談や情報交換を行っていただければと思います。また、通信機器端末の危険性・依存症などの課題や進路実現に関わる大切な話題はご家庭でもタイミングを見て継続的にお話しいただくようお願いいたします。

最後に、自由記述は10名の方にご記入いただきました。「教員の態度や指導」「定期テストの持ち方」「清掃の取組」「読書に対する生徒の現状」「HPの不備」「授業の印象」「家庭学習と宿題」「学校行事への参加希望」「アンケートの反映の仕方」などについてのご意見・ご指摘・ご感想をいただきました。これらについては、無記名アンケートという性格上、個々にお答えすることはできませんが、そのすべてを職員会議や学校運営協議会の場で原文のまま公表し、分析検討して今後の教育活動の向上に生かしております。例をあげますと、このアンケートと時期を同じくして「午前中授業の時も、午後から部活動等がある場合は学校で昼食（学校給食）をとらせてもらえると大変助かる。ぜひ検討してほしい。」とのご要望をいただきました。本校は全市的にみても学校給食の喫食率が高いこと、また、校区が広いので帰宅に時間がかかり昼食をとる時間が大変遅くなるなどの現状を踏まえ検討した結果、夏休み明け2学期より、定期テスト最終日や三者懇談会実施日は昼食（学校給食）を全員とらせてから終学活を行うことに変更いたします。したがって、この件についてはご要望に沿った形となりますが、一方で、特に三者懇談会時は教室が使えないため、部活動開始時間まで校内で待機する生徒の待機場所の確保や懇談開始時間の繰り下げによる日程の調整など新たな課題が生じます。このように、ご要望に対する検討に際しては一長一短があることも多く、結果として変わらない場合もございますが、その点をご理解ご協力くださいますようお願いいたします。

夏季大会 開幕！ ～西ノ京中生の熱き戦いがはじまる～

6/8, 9の陸上をかわきりに夏季大会がスタートしました。3年生にとっては最後の大会となります。悔いの無いよう全力で挑んでください。こちらでも全力で応援します！

※夏季大会の主な結果は順次ホームページに掲載していきますので、そちらをご覧ください。



●男子 800m 東村 航明 **優勝！**（2'03"05） ※この3名は府下大会出場決定！

●男子走幅跳 野間 匠悟 第4位（5m48） ●男子 110mH 土屋 元登 第5位（15"96）